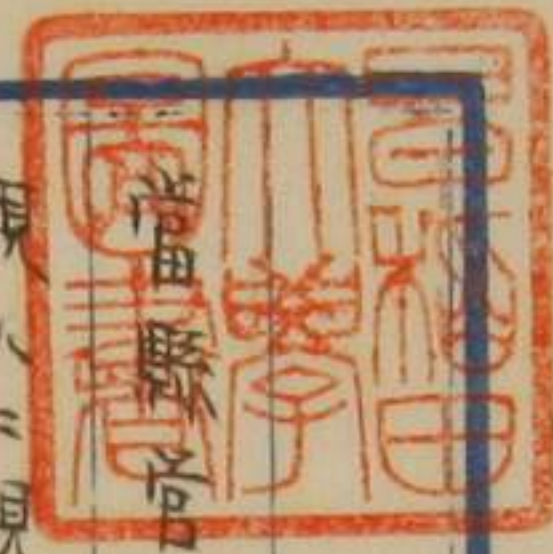


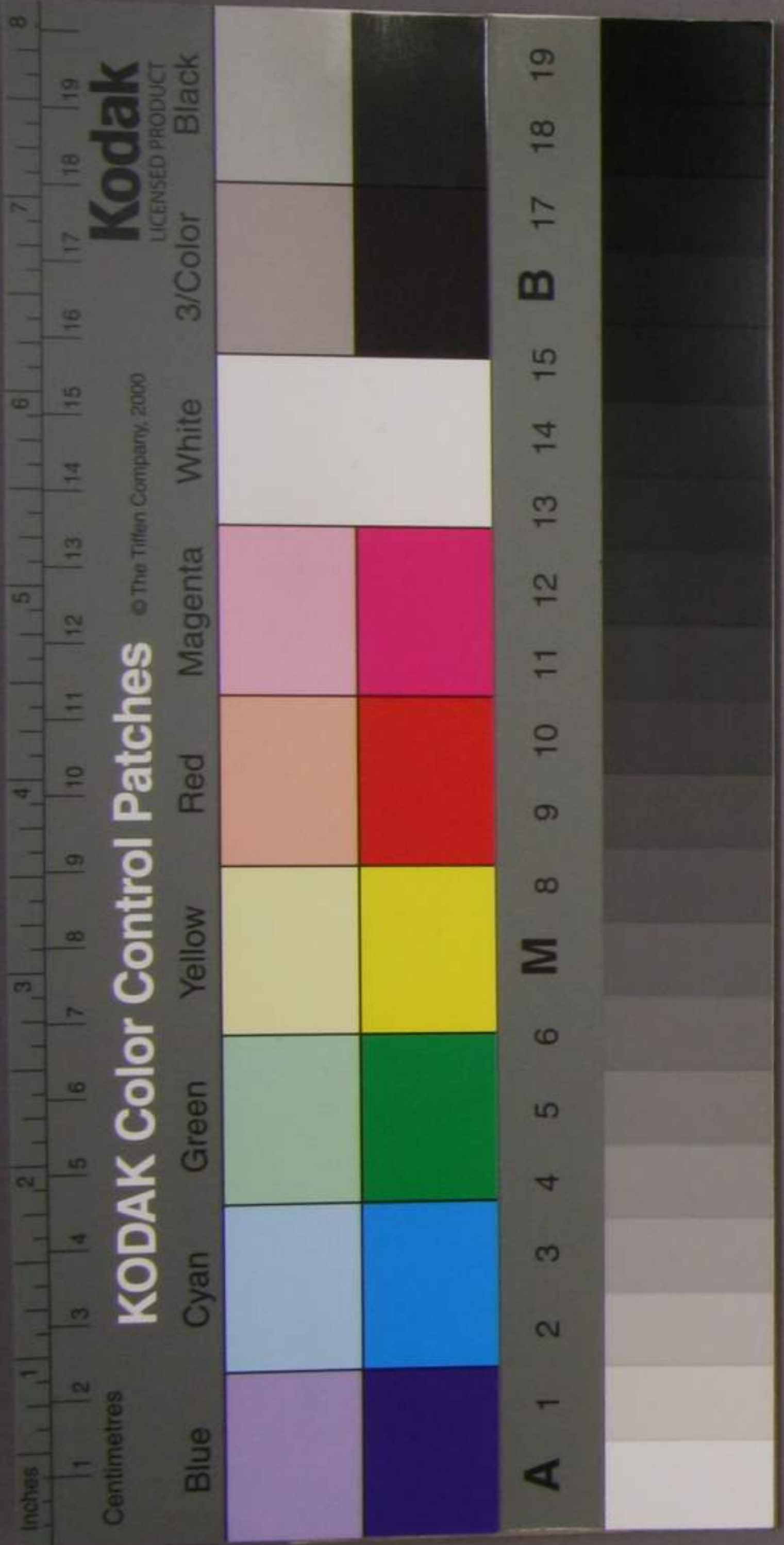
414  
A1304



農牧資金御貸與之儀伺

觀ルニ現今三千六百余戸之内追日窮乏之輩倍加リ就  
産力食ノ者甚少シ蓋シ十中七八之者緊子皆力食之  
途ヲ講スルノ意ナキニシモアラザルモ夜ニ彼ヲ考ハ此  
ヲ慮リ遂ニ決マス在再日ヲ空クスルハ一般通弊ニ有  
之然レ氏是近農ニ商ニ目的ヲ立ルモノ多クハ不慣ノ業  
不熟ノ術ナルヲ以テ或ハ勞働ニ耐ハス或一敗財ヲ竭シ  
其終始ヲ定マザルモノ比々是ナリ此レ今人ノ之ヲ鑑  
ミテ益進疑スルノ原因トアルモノ多シ夫士族款産ノ  
方在タル莫ニ一大難事タリ素ヨリ毎戸ヲ并テ悉ク  
其産ヲ得セシメントスルモ決シメ行フ可ウザルハ誠ヲ

天  
限正十一年四月  
侯爵印



俟タス独リ富志ノ輩團結シテ確莫ナル方業ヲ設ケ  
衆ノ私リ得ヘキ事又ハ款キ易キ業ヲ獲ヒテ之ヲ興起  
シ漸々鼓舞誘通セシテ企圖スルカ如キハ現今適莫  
ノ方業モ可有之今弘前町居住士族等森下道寺等舊  
志ノ輩大ニ爰ニ見ル所アリテ一大牧場ヲ常盤野村ニ興  
シ士族私産ノ門戸ヲ開カントス夫中津輕郡常盤野村  
地内官私有地數千町歩實ニ同牧ニ於テ管内ニ此ノ場  
所トス地南方ニ面シ山北方ヲ寒干地味稍々肥饒ニ属  
シ生草善ク繁茂シ後派數条飲料ニ使スヘク水車ヲ  
興スヘク雜木鬱々シテ薪炭ノ用ニ乏シヘカラス而其  
地弘前市街ヲ隔フル僅ニ三里餘ケハ港ヲ云ハ五里内  
外ナレハ運輸ノ便亦宜シアラストセス地形墾子如此且同

牧ハ管内最モ有益ノ業タルニテ俟タス而其業ヤ資金ヲ以  
テスルモノトカヲ以テスルモノト相合シテ而メ先ヲ得故ニ  
其業増ス大ニハ資金亦益入多キヲ要シ随テカ農者  
モ又増ス多キヲ要セアルヲ得ス是レ誠ニ就産事業ニ  
ノ適合アル所アリトス今彼富志ノ者如此良地ニ就キ如  
此ノ適業ヲ興シテ漸次ニ同族ヲ率導セハ其目的ヲ達  
スルニ於テ敢テ難キニ非ナリ然レ現今同志之輩  
ヲ募集シテ資金一萬四千円ノ目途ニ既ニ立ツト金凡ソ  
同牧事業ノ如キハ其農リ永遠ヤラレハ其功甚ク  
期シカタク其業小ナル片ハ平均ヲ得ルノ最モ難シ而  
シ其永遠ヲ農リ其平均ヲ得ントスルヤ必ス先ツ其  
資金ノ多キニ望マカレハカラス概テ今該地ノ面積ト事

業ノ適度等ヲ酌量シ積リ蓄美ヲ作り其不足ニ屬スル  
金四万五千円ハ特別ノ恩貸ヲ仰キ日誌結合拮据廻効  
仕度出願ニ及ヒ其右開牧ノ業当管内ニ既ニ多少ノ  
実績モ有之且其方業ヲ設クル看察ニシテ豫美亦同  
當ト認レリ加之奔走ノ者摩子日族中名望馬志之  
輩多ニ居テ得ハ其目的ヲ達スルヲ得ヘク或ト被存美  
且該業ハ独リ士族後産ノ一点ニ限ラス管内物産上最  
有益ノ事業ニ得ハ非常破格ノ御許儀ヲ以テ願之  
通御免許資金貸與方及保獲監督等當縣ノ御委  
任相成スルノ積々注意獎勵而可致別紙方法書委共相  
添此取相伺矣也

明治十四年

縣令山田秀典代理

五月十四日

青森縣大書記官郷田兼徳

農商務郷阿野敏鎌殿

進テ不文御免許ノ上ハ時宜ニ應シ資金ノ内本業ニ  
差郷音カケル操合ヲ以テ該地方生産適当ノ事業  
蚕製糸機織流ニ事ノ費ハ一時振用貸付更後ニ可  
有之此取豫テ上申置ス夫

